

営農技術情報

一畑作(大豆⑤)一

令和6年 9月13日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524
JA道北なよろ TEL01655-3-2521
JA道北なよろ営農センター TEL01654-3-4307

～コンバイン収穫における大豆の汚粒防止対策～

汚粒とは、大豆の表面が黒ずんだように汚れた子実のことです。汚粒となった場合、等級が低下し、程度のひどいものは規格外となります。

汚粒の主な原因は、収穫時の土砂や植物体の水分、機械の摩擦です。

収穫前に行う作業

① 雑草や茎葉の青みが残っている株の抜き取り

ほ場の雑草(特にイヌホオズキやシロザ)、「わい化病株」や生育の遅れている株は、収穫前に抜き取りを徹底しましょう。

② コンバインの清掃

小麦等の収穫物の残りが無いよう、コンバインの清掃を念入りに行いましょう。

③ 子実水分を必ず確認する

収穫作業は子実水分 18%以下 (JA受入水分)、最適は 16%以下、茎が「ポキッ」と折れるようになったら開始しましょう。

収穫時の注意点

① 茎に「ぬめり」を感じたら収穫しない

茎を指でこすったときに、ぬるぬるする「ぬめり」を感じる場合は収穫を避けましょう。

② 朝露や夜露を感じる際の収穫は厳禁！

収穫はできるだけ晴天の日に行い、午後4時頃までには収穫を終了しましょう。

③ 刈り高さを確認する (通常は7～8cm)

刈り取り部に土砂を食い込ませないよう、刈り高さを調整しましょう。また、最下着莢位置を確認し、刈り取り損失が少ない場合は12cm程度の高さで収穫しましょう。(刈り高さが高いほど、汚粒は少なくなります)

④ 収穫速度は0.8m/s程度 (乾燥した良好な条件では1.0m/s)

主茎長が短い場合や莢付き子実が多いとき、倒伏程度などに応じて、収穫速度を遅くしましょう。

※ダイズシストセンチュウの発生が疑われるほ場(生育期間中に黄化や生育不良)は、収穫を後回しにするか、収穫後にコンバインを洗浄し土砂や残渣を除去しましょう。

◎コンバイン作業時には、周囲の安全を確認しましょう◎
◎点検等は、必ずエンジンを切ってから行いましょう◎